

2019年とりまとめに向けて御議論いただきたいポイント (第11回国土管理専門委員会)

2019年とりまとめ骨子(案)の構成	特に御議論いただきたいポイント
1.3年目の議論の位置づけに関する記述	—
2.収益性等の観点から利用が困難な土地の現状と課題(アンケート、事例及び文献調査等より記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・収益性等の観点から利用が困難な土地について、発生量、発生場所、外部不経済の種類、という点を整理するという方針は妥当か。 ・第10回委員会での現地視察や傍聴者からの意見(資料1、参考資料1・2)、事例及び文献調査(資料5)から反映すべき外部不経済の発生状況等はあるか。
3. 収益性等の観点から利用が困難な土地の管理に向けて <small>※2018年とりまとめの第2章に相当する章とすることを想定</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年とりまとめで示した検討ステップに沿って検討を進めるという方向性は妥当か。 ・第10回及び今回の委員会の発表事例や、これまでの委員会での議論等を通じ、骨子案で示した点のほかに、検討ステップに沿って検討する上で新たに考慮すべき点はないか。 ・検討ステップに沿ってケーススタディー(資料6)を実施し、他にも考慮すべき点がないかを検証することを予定しているが、その上で留意すべき点はあるか。
4. 収益性等の観点から利用が困難な土地の利用・管理を検討する主体にとっての課題と解決の方向性 <small>※2018年とりまとめの第3章に相当する章とすることを想定</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回及び今回の委員会の発表事例や、これまでの委員会での議論等を通じ、「人(主体)」、「土地」、「仕組み」の視点から整理すべき課題や教訓はあるか。 ・ケーススタディー(資料6)を実施する中で見えてくる課題を抽出し、とりまとめに反映していくことを考えているが、より多くの観点から課題を抽出するために、留意すべき点はあるか。
5. 主体ごとに求められる役割と残された課題	<ul style="list-style-type: none"> ・関係する主体ごとに、どのような役割を果たしていくべきか。また、役割を果たしていくための課題は何か。 ・骨子(案)で羅列した主体以外に、想定される主体はあるか。
6 今後の検討の方向性	—
(全体を通じて)	<ul style="list-style-type: none"> ・骨子(案)の構成は妥当か。他に追記・修正すべき事項はあるか。